

## 根木内歴史公園観察会

2017, 3, 13

参加者 6 名

朝方降った雨で地面は少し濡れている。空は雲が多い。まず出迎えてくれたのはアオジ 2 羽、アベリアの生垣を出たり入ったり。その向こうのジャヤナギの下にはドバトとムクドリが群れている。枯草がよけられて土が見えている地面をさかんにつついてはいる。草の種でも落ちているのだろうか？ 虫が出てきているのだろうか？ イヌシデの木にもたくさんの鳥、確認しようとしたら飛び立った。ひょっとしてアトリ？ 湿地を進んでいくと、ムラサキケマン・セリに加えてヨモギのやわらかそうな新芽がみられた。

ミゾソバのフタバもたくさん見られる。ニワトコの若木も赤紫の葉をつけていた。日当たりの良い場所のニワトコはすでにブロッコリーのような花芽をつけているが、湿地の日陰では新芽を出したばかりのようだ。

先月コナラの幹にいたヨコヅナサシガメの幼虫はどこへいったのだろうか。捜してみたが、見つからなかった。畦にはハルジオン・オランダミミナグサ・ケキツネノボタン・ギシギシなどの葉を見つける。ヨシもしっかり新芽を出している。ヘビイチゴ・タネツケバナ・オオイヌノフグリ・ヒメオドリコソウなどは花をつけているが、今日は陽ざしが少ないせいか半分閉じたようであまり目立たない。春爛漫を期待したが、少々早かったようだ。

コブシの木、今年も花芽をいっぱいつけて、上の方は少し開きかけている。すると枝にモズが留まった。ずいぶん体をふくらませてダルマさんのようなまるい体の先でシッポをふっている。メスのようだ。アオサギも川の方へ飛んでいった。

アカガエルの卵塊を探す。水が濁っていてよく分からなかったが、卵塊らしきものはいくつか見られた。田んぼにはタガラシが顔を出している。田起しの季節になると現れる植物だ。タネツケバナを見ていたら一輪ノミノフスマが混じっていた。春の準備はちゃんと進んでいる。アザミのようなロゼットを見る。ここではまだアザミは見えないよね、ということで図鑑を繰る。どうやらオニノゲシということで一件落着。アリアケスミレはまだかと川側湿地を歩いてみたが、ギシギシの葉ばかりで分からない。来月に期待しよう。上富士川のへりでアオジ・ジョウビタキ（♂）を見る。これも体を膨らましている。今日は鳥さんたちも寒そうだ。カルガモ 2 羽・コガモ 3 羽はせっせと食事中。そんなに美味しいものは何だろう？ 上流の下水などから流れ落ちる川水には何が含まれているのか？

アセビ（馬酔木）の花がチラホラ咲いている。顔を近づけてにおいをかいでみたら、馬ではないけれど酔いそうになった。広場に行くと今年はあまり花芽をつけていないコブシの木に鳥が群がっている。アトリだ！ ずいぶん長い間とどまっていたが、そのうちに一斉に飛び立った。50 羽くらいだった。もうそろそろ北帰行の時期だ。シメ・ヤマガラ・エナガ・シジュウカラなども姿を見せ、ウグイス・コゲラの鳴声も聞いた。風が冷たい観察会で春の様子ではなかったけれど、鳥をじっくり楽しむことができよかった。観察会の鳥合わせでは 15 種でした。